

## 市長記者会見記録

日時：2023年4月18日（火）14時00分～14時13分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：【話題提供】新型コロナワクチンの令和5年春開始接種を実施します  
【市政一般】

### <内容>

#### 《新型コロナワクチンの令和5年春開始接種を実施します》

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日、話題提供といたしまして、「新型コロナワクチンの令和5年春開始接種を実施します」となっております。それでは、まず福田市長から本話題提供について御説明いたします。市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 新型コロナウイルス感染症の予防接種につきまして、本年3月8日に関係省令等が改正・公布され、5月8日より新たに令和5年春開始接種が開始されます。本市の対応について御説明いたしますので、資料、「新型コロナワクチンの令和5年春開始接種を実施します」を御覧ください。

初めに、接種の概要でございます。実施期間につきましては、5月8日から8月までとなります。対象者につきましては、新型コロナワクチンの初回接種を完了している65歳以上の方、5歳から64歳の方で、国の示す基礎疾患を有する方や、その他重症化リスクの高いと医師が認める方、医療従事者や高齢者施設等の従事者でございます。使用するワクチンは、オミクロン株対応ワクチンまたはノバックスを使用し、接種間隔等は、前回接種から3か月以上の間隔を置いて1回接種を行うものでございます。

次に、接種体制といたしましては、市内約500か所の医療機関での個別接種のほか、施設入所者等に対しては、巡回接種により接種機会を提供してまいります。

その他、関連する取組といたしまして、小児科の医療機関を中心に、引き続き小児や乳幼児への接種を実施するほか、接種後の副反応に関する相談体制といたしましては、医療機関による対応のほか、本市コールセンターでの対応も行っております。

次に、接種券の発送等について御説明いたしますので、次ページの「オミクロン株対応ワクチン等を接種済みの方へ接種券を発送します」を御覧ください。

初めに、発送スケジュールでございます。65歳以上の方で、前回の接種時期が2

月5日までの方には4月24日月曜日に接種券を発送いたします。また、64歳以下の方で、前回接種時期が2月12日までの方には4月28日金曜日に接種券を発送し、以降、各年代とも接種時期に応じて、原則として毎週金曜日に順次発送を行ってまいります。

次に、(2) その他留意事項でございますが、オミクロン株対応ワクチン等を未接種の方で、接種の対象者に該当する場合は、既にお送りしている接種券を使用して接種を受けていただきます。また、対象者の方で、令和5年春開始接種にて接種を受けない場合や接種対象外の方につきましては、9月以降に予定されております令和5年秋開始接種の際に、今回発送する接種券を使用させていただきますので、保管いただければと存じます。

次に、2(1) 予約開始日でございます。4月26日水曜日午前8時30分より、接種券が届いた方から受付を開始いたしますので、5月8日以降、前回接種から3か月を経過する日にて御予約いただければと存じます。予約方法は、本市予約サイト、ワクチン予約コールセンターによるほか、一部の医療機関では独自に行っておりますので、御不明な点がございましたら、予約コールセンターまでお問合せをいただければと存じます。なお、参考資料として、予防接種実施計画の概要版を添付しておりますので、後ほど御参照いただきたいと思います。

最後になりますけれども、今回実施する令和5年春開始接種では、重症化予防を目的に接種機会を提供するものでございます。感染時の重症化リスクの高い65歳以上の方や基礎疾患のある方など、接種対象となる方々におかれましては、ぜひ積極的に接種を御検討いただければと存じます。

以上でございます。

【司会】 それでは、ただいま御説明しました件と市政一般に関する質疑を併せてお受けいたします。進行につきましては、幹事社各社の皆様、よろしく申し上げます。

【日経(幹事社)】 日経新聞です。コロナ感染者が、1年前、2年前と比べて随分減りました。足元で増えているとはいえ、警戒感も随分薄れてきているかなと思うんですね。その中で、接種率を上げるための市としての施策、あと市長のメッセージがあればお願いします。

【市長】 医療関係者からのお話などを聞きますと、個別の医療機関など医師会などのお話を聞きますと、やはり春接種のニュースが出ているけれども、それについてはどうかと、あまり積極的ではないという雰囲気のお話を聞いておりますので、今回の春接種については重症化予防ということでありますので、基礎疾患をお持ちの方、

あるいは重症化のリスクがある高齢者の方は、ぜひ積極的な接種をお願いしたいと思っております。

今の感染状況、ちょっと上向きになったということですが、その伸びもまた少し鈍化してきているということなので、岡部所長なんかはあまり一喜一憂せず、しっかり注視していこうという話も聞いておりますので、5類になったからといってコロナがなくなったわけではないので、引き続き適切な感染対策を行いながら、なるべく日常生活に戻していこうという思いでおります。

【日経（幹事社）】 ありがとうございます。

【毎日（幹事社）】 幹事社、毎日新聞です。同じくコロナに関連してなんですけれども、5月8日に5類に移行するに当たって、改めて国に要望しておきたいことがあればお聞かせください。

【市長】 まだ詳細がはっきりしていない項目も、5月8日までには国からも示されると聞いておりますので、その辺りの情報提供を早くしていただいてというのはありますけれども、今現時点で何か思いつくというのは特にございません。

【毎日（幹事社）】 では、各社さん、よろしくお願ひします。

【司会】 質問はよろしいでしょうか。

#### 《市政一般》

#### 《統一地方選挙について》

【東京】 東京新聞です。この間、市議選が投開票されましたけれども、結果に対して市長としてはどのように受け止めていらっしゃるか。維新の躍進であったりとか、1人ですけど女性が増えたりですとか、女性がトップで当選する区が多かったりということがあったのが今回特徴的だったのかなと私としては受け止めてはいるんですけれども、市長として今回の結果をどう受け止めて、今後4年間、4年間なのか、市長御自身の任期もあるかと思うんですけれども、どう議会と向き合っていくかということも含めてお答えいただけたらと思うんですが。

【市長】 議会の向き合い方については、これまでも変わることなく、住民を代表される新しい議員が誕生されたので、議会に対しては、私を含め行政職員、真摯に対応していきたいと思っております。

それから、選挙結果につきましては、維新がどういうふう、どのくらい得票するのかなというのは、みんな関係者は注目していただいておりますけれども、一定の支持を集めていたなということは思います。選挙前にも申し上げましたけれども、女性の候補者が非常に多かったことは、それ自体は、結果ということではなくて、候補

者が増えたこと自体、私は非常に歓迎すべきことだと思っておりますので、また、女性が議会の中で増えたということは、党派を問わず多様な意見が出てくることは非常に歓迎すべきことではないかと思っております。ぜひ活発な議論が議会の中でできればうれしいなと思っております。

【東京】 ありがとうございます。

#### 《川崎市学習状況調査・学習支援について》

【t v k】 テレビ神奈川と申します。先週行われた川崎市独自の新しい学習状況調査についてなんですけれども、全市で行われたということで取材に伺ったんですけれども、G I G A端末と結果を連携させてドリルが出てくるという、その仕組み自体にかなり驚きを覚えて、ここまで一人一人に寄り添って進んでいるんだなというのを実感したんですけれども、市長はあの仕組み、取組について、どのような所感、考えをお持ちでしょうか。

【市長】 私、ずっと言い続けてきたのが、分かる授業をちゃんと提供する。義務教育課程というのは、全ての皆さんが最低限学ぶべきことなので、それを取りこぼさずにしっかりと学び取ることが大事なので、そういった意味では、今回、G I G A端末を使って、できなかった苦手部分を繰り返し反復で復習できるのはとても大事なことというか、その機会が整ったと思っております。ですから、学習状況調査をうまく児童生徒が使って、保護者の方も含めて、あるいは学校、教員、みんなですけれども、こういった情報をうまく活用して、自らの学びにつなげていくことが大事かなと、その機会ができたことは本当にうれしいことだと思います。ぜひ皆さん前向きに、今の自分の現状をよく知っていただくというものでは、いい形になったのではないかと思っております。

【t v k】 関連して、地域の学習支援の取組についても取材をさせていただいたんですが、生活保護受給世帯だったりとかひとり親世帯に対する学習教室を中原区でN P Oが担っているという取組を見てきました。学校教育だけではなかなか手が行き届かないところも、きちんと地域の目で支えていくことが大事なんだなというのを実感したんですが、その点は市長、お考え、いかがでしょうか。

【市長】 様々な課題があると思っております、今月行われた総合教育会議のテーマでも不登校の問題を取り上げさせていただきました。今までは、学校教育に戻すことを主眼に置いていた取組から、国も考え方を変えて、私たちも取組を大いに転換してきました。学校だけじゃない地域での、学校以外のところでの学びをどう確保するかということと、それから学校教育のところでもまだタッチできてない取組は、今、検

討している不登校特例校の話もそうでありますけれども、様々な学びの機会を提供するというのは、まだまだやれるべきことがあるんだろうと思っています。

例えば、G I G A 端末みたいな形でオンラインでつながるということで、学校じゃないところでも学びの機会は提供し続けることでありますとか、そういった様々な機会を提供していきたいと思っています。民間あるいは地域のところでも様々な取組がされていることを承知しておりますし、そうした人たちとしっかりと連携しながら、情報を共有しながらやっていきたいと思っています。

【 t v k 】 ありがとうございます。

【司会】 ほかにございますでしょうか。

それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

---

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)2355